

三重大学

○ 産学官連携体制図

大学等名 : 国立大学法人三重大学

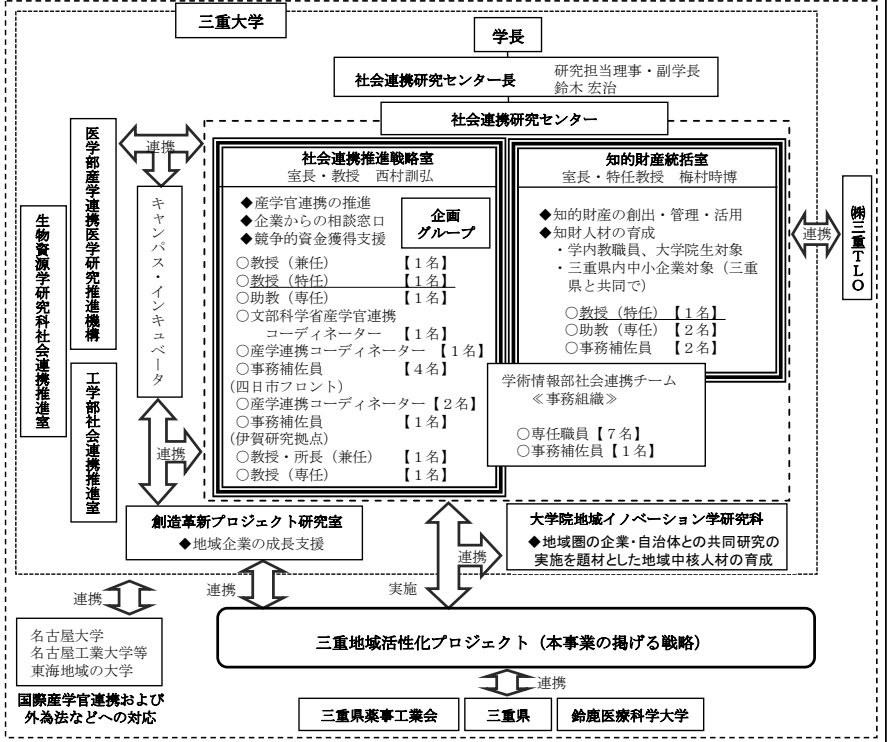
・本部（センター）の構成概要

平成21年度から新設された大学院地域イノベーション学研究所との連携を図ることにより、本プロジェクトの実施および地域振興プロデューサ候補者の育成を効果的に果たせるようにした。

平成22年度には、社会連携研究センターおよび知的財産統括室の2部門を統合・再編した。

・本部（センター）の特徴

研究担当理事が直轄する「産学官連携に関する実務を担当する社会連携推進戦略室」と「知的財産の創出・活用を担当する知的財産統括室」の連携により、本学執行部の意思に沿った産学官連携戦略が実行できる体制である。また、大学院地域イノベーション学研究所との連携によって本事業を実施することで、高い実効性を担保しながら事業を進めることができる。



○ 成果事例

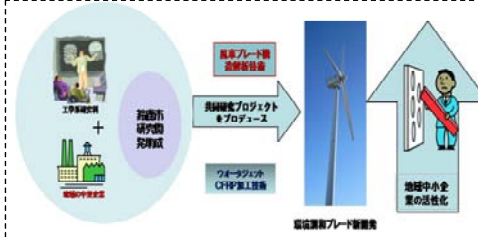
三重樹脂(株) - 三重大学 - 鈴鹿市 カーボンバレープロジェクト

大学等名 機関名称 国立大学法人三重大学

要約

学官連携で始めた地域活性化活動から、航空機用複合材の加工を行う中小企業「三重樹脂」を選定し、産学連携の具体的な施策として、まず本学との共同研究を立ち上げた。これを鈴鹿市の助成事業に申請して、産学官連携体制を構築した。この連携では、カーボン材料に係る「地域固有の優位技術」の確立と地域活性化を担う人材の創出を目的としている。今後は、カーボン材料・加工などのものづくりに関する「新規事業の創出に係る研究会」を立ち上げることが決定している。さらには、このプロジェクトを出発点として、地域の元気な企業を集めて新産業創出クラスターを形成して地域固有の新たな産業を生み出すことを計画している。

環境調和型風車ブレードの開発のスキーム構築と実践



三重北部地域の優れた技術を集積したクラスター形成を行い地域活性化を目的とし、「カーボンに係るものづくり・材料技術集団」を鈴鹿市に形成する地盤づくりを開始した。「環境調和型風車のブレード開発」を具体的なテーマとして、カーボン材料評価、構造最適化、低騒音化を産学官にて実施し、関連技術、ものづくり技術集団の集積と活性化を図る。その結果、カーボンバレー構想プロジェクトとして事業推進する。

創出

産学官連携のきっかけ（マッチング）
地域産業の活性化のためには、自動車関連に偏った産業構造を変える必要があった。地元自治体と連携して、企業訪問と地域産業の特色調査・分析を行った結果、三重北勢地域の活性化の牽引役になれる企業を見だし、本プロジェクトが始まった。

整備

知財管理（特許化、知財保護）
●特許出願：事業のプロジェクト管理と推進の支援を行う団体として、三重大学知的財産統括室を予定している。具体的な「風車ブレード形状」にて特許調査・分析を行い、マップ化、特許申請を予定している。

活用

技術移転の概要
成果内容の事例
●市場への貢献
CFRP等の材料は、高強度・超軽量などの観点から、輸送機器や風車などの高効率化および環境調和において次世代構造材料として期待されている。しかし、難加工であり高コストでもあるため産業応用の対象が限定されていた。今回の産学官の取り組みにより、新材料開発、その加工技術の開発、加工から組み立てに至る一貫した産業クラスターを形成して地域の産業の活性化をはかる。
●技術の革新等によるイノベーション創出
参加する企業が有する高度な加工技術、組み立て技術をベースにして産学官連携体制にて、新規事業の企画・創出を行い、CFRP応用風車ブレードや輸送産業適用部品材料として地域の活性化に繋げる。ひいては、三重県北勢地区の産業構造の革新に繋げる。
●国際産学連携
参加した企業である三重樹脂のCFRP加工技術は世界トップレベルであり、既に海外の国際的な航空機器大企業と事業連携している。今後は、三重大学の風車に関する国際的なネットワークを活用して新たな産業分野への参入を狙う。
●地域との連携
鈴鹿市の助成事業を獲得し、産学官連携の体制を構築した。今後は、鈴鹿市の政策とも連携を取り、関連する研究会の立ち上げが決まっている。この形成された地盤を活用し、今後の事業拡大や大型研究資金の獲得に繋げていく予定である。
●人材育成
本共同研究により、三重樹脂の次期社長を育成する。また、地域イノベーション学研究所とも連携して、次世代リーダーの育成教育に役立っている。

共同研究 ※
鈴鹿市の事業助成事業を獲得し、三重樹脂と三重大学・機械工学科との共同研究「環境対応型風力発電風車ブレードの調査・開発」を推進している。

連携機関
三重樹脂(株)、三重大学 大学院工学研究科、鈴鹿市役所 産業政策課